



災害時母子救護研修

家を失った妊婦・褥婦・乳幼児はどこで生活するか知っていますか？



災害時に環境の変化を受けやすい妊産婦や乳幼児には、適切な生活環境が確保されるように最大限の配慮が求められます。災害はいつどこで発生するかわかりません。災害時という特殊な状況下では、平時の業務の延長線上で全てが対応できるとは限りません。災害時に慌てないようにするために、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、熊本地震など過去の災害の経験を通して母子救護に何が必要か。HUG(避難所運営ゲーム)で災害時の状況を模擬体験しながら、地域の実情に合わせた災害時の母子救護の重要性を一緒に考えていきましょう。

日時:2023年9月1日(金) 9時~13時(予定)

会場:浦河町総合文化会館 北海道浦河郡浦河町大通3丁目 52

募集人数:20名程度

職種:不問(医療知識は問われません)

参加費:無料

申し込み:下記フォーム、またはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/uyQDrdzvC8ua7zU37>

募集期間:2023年6月18日~7月31日

かわたれ



お問い合わせ先:北海道大学病院 産科 齊藤 良玄
m010067d@yahoo.co.jp



スケジュール(仮)

8:30~9:00	受付
9:00~9:30	講演会 高知医療センター 渡邊理史先生
9:30~10:10	北海道の災害、避難所の暮らし、ゲーム説明
10:10~11:40	避難所運営ゲーム
11:50~12:30	振り返り、意見交換、閉会